

J R 総連通信

レールウェイはヒューマンウェイ

参議院議員 田城 郁



2012年9月25日 No.1061

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

原発事故に苦しむ住民の目線から・・・



東日本大震災から、1年6ヶ月が経過した。復旧・復興は地域住民の努力によって確実に前進している。しかし福島第一原発事故によって、強制・「自主」を問わず現在でも16万人にのぼる人たちが故郷に帰れず苦しい避難生活を強いられている。

この映画の舞台は、震災から数年後の20XX年、マグニチュード8.3の地震と、それに続く原発事故は人々の生活をたちまち一変させる。強制退避を命じられる日も刻一刻と迫ってきた。帰るべき場所を失い、放射能におびえる人々。終わりなき絶望の先に、果たして希望の未来はあるのだろうか?・・・と問いかけている。

私たちは、平和と民主主義を守り社会正義を貫く立場から、「原発ゼロ」を目指してと取り組んできた。これまでの取り組みを検証するためにも、みんなでこの映画を鑑賞しよう！

公開日は、全国一斉10月20日！

東京：新宿ピカデリー 川崎：109シネマズ川崎 埼玉：MOVIXさいたま

北海道：札幌シネマフロンティア 愛知：ミッドランドスクエアシネマ

大阪：なんばパークシネマ 福岡：KBCシネマ ※その他、日本全国で上映されています。

あわせてもう一作品。ドキュメンタリー映画

「フタバから遠く離れて」

被災直後の3月19日、町ごと遠く離れた埼玉県加須市に1200名もの人たちが移住した「双葉町」町民を追った作品です。

東京：オーデイトリム渋谷、と大阪：シアターセブン、
兵庫：神戸アートビレッジセンター

公開日は、10月13日！

